

(春学期末) オンライン授業についてのアンケート 実施結果概要報告

立教大学では、2020年度春学期のオンライン授業について、5月に実施したアンケートに続き、春学期末の時点での学生のみなさんの学習状況などを把握し、今後の本学の授業改善に活かすことを目的としたアンケートを実施しました。ご協力いただきありがとうございました。

以下に概要をご報告します。

【調査概要】

調査対象：全学部学生

調査方法：立教時間による一斉メール配信により、Google Formsの所定URLから回答

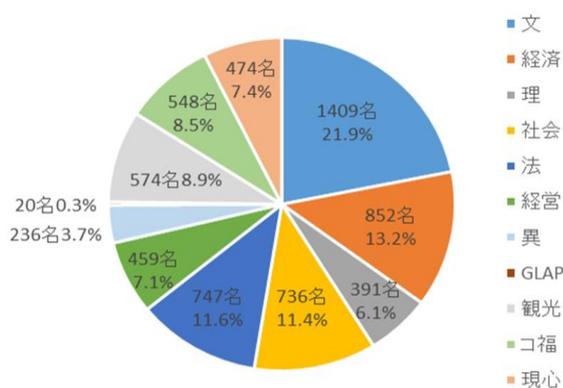
実施時期：2020年7月11日～7月16日 6日間

回答者数：6,446名 回答率33.6% (前回5月比 +1,784件 +9.4%)

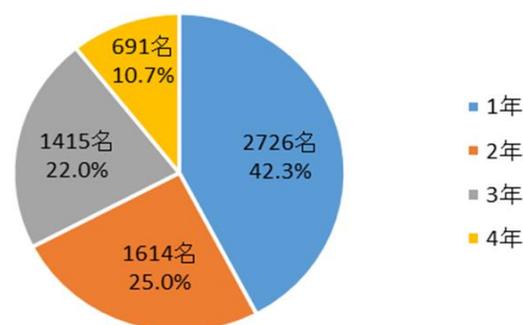
【回答者属性】 (n=6446)

- ・オンライン授業受講の有無：99.6%が受講中
- ・回答者の学部構成比は所属学生数に応じた割合となっています。一方で学年比については、1年次生が42.3%と最も多く回答しています。

学部別回答者数と構成比

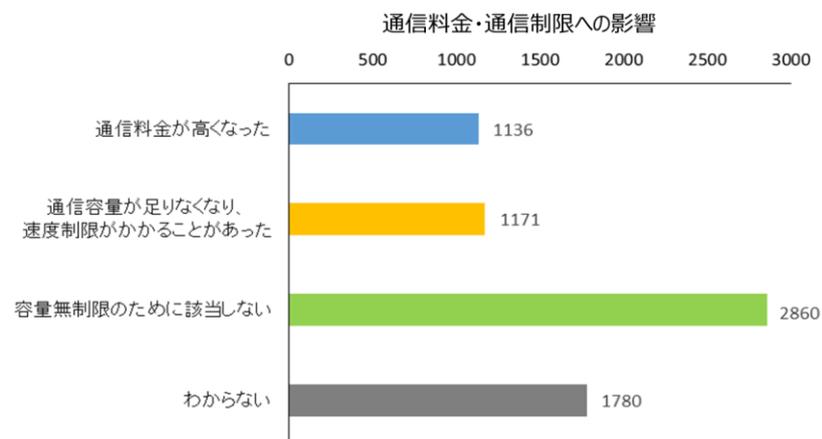


学年別回答者数と構成比



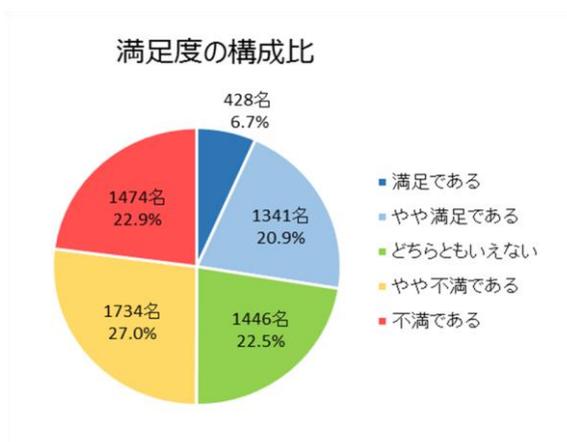
【調査結果】 (n=6423)

・オンライン授業を受講したことにより、通信料金や通信制限などに問題は起きたかを問う設問（複数回答可）では、容量無制限の学生が多くいる一方で、通信料金や速度制限に影響が出た学生も見られました。

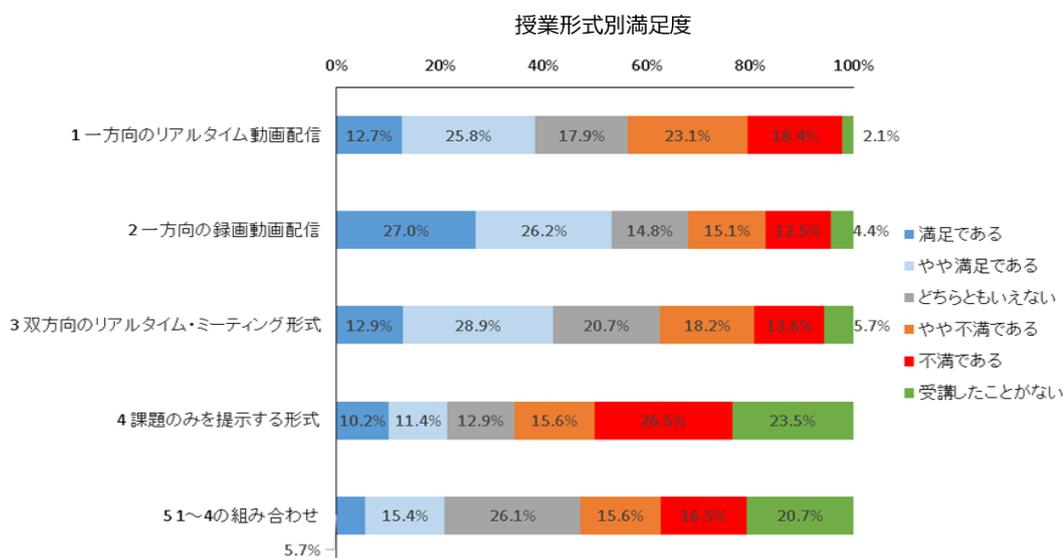


※複数回答可のため、回答数（のべ数）で集計

・オンライン授業全体の満足度を問う設問では半数近くの学生が「やや不満」「不満」と回答しています。不満に感じる要因を分析し改善に向けて対応していくことが急務となっています。



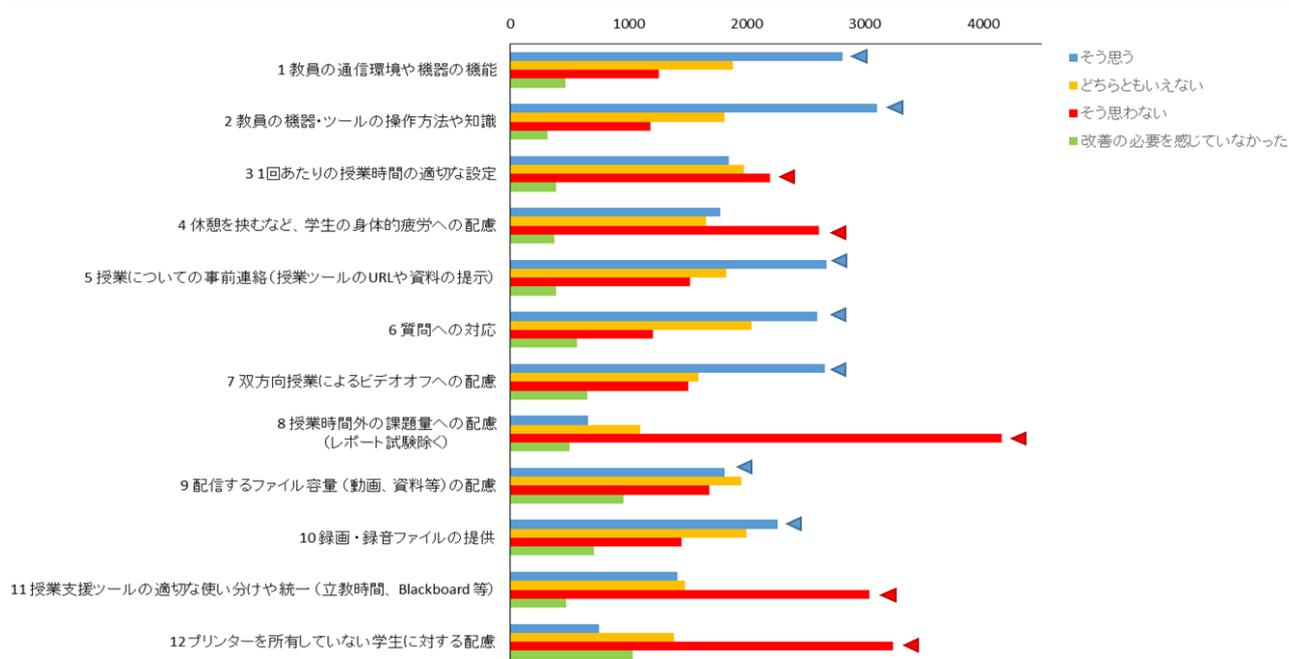
・授業形式別の満足度を問う設問では、一方向の録画動画配信の満足度が最も高く、課題のみを提示する形式に対する不満の割合が高い傾向が見られました。



・授業開始当初と比較し、改善された点を問う設問では、「そう思う」が「そう思わない」を上回った項目を改善された、「そう思わない」が「そう思う」を上回った項目を改善されなかったとして解釈した場合、改善された項目は、7項目あり、教員の通信環境や機器の機能、ツール操作方法や知識、授業の事前連絡、質問への対応、ビデオのオンオフや録画ファイル、配信ファイルへの配慮で一定の改善が見られました。改善されなかった項目は5項目あり、授業時間外の課題量、授業時間、身体的疲労、プリンターを所有しない学生への配慮や授業支援ツールの使い分けは、さらに改善が必要といえます。

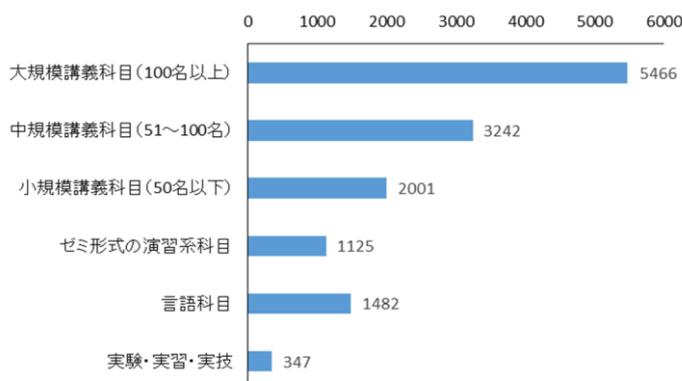
また、本設問項目以外の改善点を聞いた自由記述では、レポート試験の負担など成績評価方法に関する内容が挙げられていました。

オンライン授業の改善状況



・オンライン授業に適した授業形式を聞く「どのような授業なら、今後もオンラインで受講したいですか」という設問に対しては人数規模の大きい科目について受講希望が多く見られました。また選択肢以外に、オンライン授業に適しているものを聞いた自由記述においては、「講義以外の説明会やガイダンス」「外部講師やゲストスピーカーを招くオムニバス授業」など形式について述べたものや、「情報処理」「語学資格に関する授業」など授業内容について述べた内容が見られました。

オンライン授業に適した授業形態



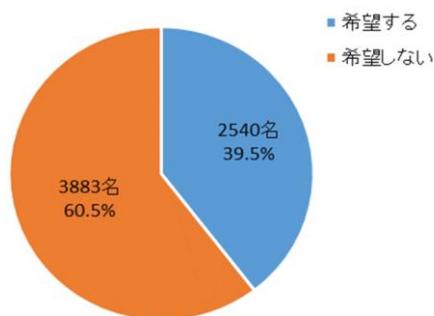
※複数回答可のため、回答数(のべ数)で集計

・今後のオンライン授業受講の希望を聞く設問については、回答者数の39.5%が希望する、60.5%が希望しないという結果でした。学年別の集計結果からは、学年が上がるほど、希望するの割合が増えていることや、1年生は希望しないが74.7%と他の学年に比べ、高い傾向が見られました。

「希望する」と回答した学生の自由記述からは、新型コロナウイルス感染拡大に対する不安の声がもっとも多く聞かれました。また、通学が不要になることの利便性、自分のペースで集中してが学修できるなどの利点を挙げる声もありました。

一方で「希望しない」と回答した学生の自由記述には、友人を作りたい、キャンパスで学生生活を送りたい、大学の施設を利用したいといった、大学自体への来校を希望する内容が多く見られました。また、オンライン授業自体に対する不満として、通常授業と比較し課題が多いことに対する負担感や、パソコンに向かう時間が長くなることによる身体的・精神的負担、ディスカッションを行う授業などがやりにくいといった内容が見られました。

今後のオンライン授業の受講希望



<おわりに>

学生の皆さんへは、あらためまして、本アンケートへのご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。お寄せいただいた回答は、集計データとして個人を特定しない形で各学部等および事務部局に提供しました。大学全体でオンライン授業改善のために活用させていただきます。立教大学は、2020年度秋学期の授業は原則オンラインで実施することとし、感染防止策を十分に講じたうえでキャンパス内での対面授業も一部の科目で実施することとなりました。5月に実施したアンケートと今回の結果を分析し、秋学期のオンライン授業の改善へと全学的につなげてまいります。

2020年7月

集計・制作：立教大学 大学教育開発・支援センター 教学IR部会